

岩手ホスピスの会通信



No.47

2014年1月

岩手ホスピスの会 会員数 709 名 (2013. 12. 25 現在)

代表 川守田裕司 事務局長 吉島美樹子

編集発行 「岩手ホスピスの会」事務局

〒020-0883 岩手県盛岡市志家町 13-31 川守田方

TEL090-2604-7918 FAX019-653-6447 郵便振替口座 02250-1-60580 E-mail hospice@eins.rnac.ne.jp

Homepage (岩手ホスピスの会通信) <http://hospice.sakura.ne.jp/>

タオル帽子でクリスマス

11月30日、4000個の帽子がボランティアの手により広い会場に準備された様子を眺め思わず胸があつくなりました。一枚のタオルから一個の帽子を時間をかけこつこつと制作に関わってくださった多くの方々への感謝の思い。そして、この帽子を手にする4000人の患者さんの笑顔が目に浮かびました。

今年で6年目になる全国がん拠点病院へのクリスマスタオル帽子プ



レゼントの発送作業が行われました。今回は、60件の病院へ4000個のタオル帽子が無料配布されました。当日は、東京海上日動あんしん生命から、1110個のタオル帽子が寄贈されました。

これまで支援いただいた、制作ボランティアさん、内野株式会社様など紙面をお借りし深く御礼申し上げます。また、この事業は「公益財団法人・いきいき岩手支援財団」の助成を受けて実施されました。



「岩手県がん条例」

—患者と家族の声を届けよう—

全国に広がるがん条例制定の動きが岩手にも波及してきました。岩手県議会「がん対策に関する条例検討会」は岩手県がん対策推進条例の2013年度中の策定を目指しています。すでに全国では過半数の24県にがん条例が制定されています。

がん条例が制定されると、

1. 行政の姿勢が変わり、積極的にがん対策に関わるきっかけとなった（島根県）
2. がん対策予算の大幅増額（島根県）
3. 予算が増える中で、医療現場にもその恩恵が及び、医療機関を対象とした新規予算項目が並んだ（島根県）
4. 患者主導で条例が制定された結果、患者の支援にも良い効果があった。（島根県）
5. がん対策の08年度予算は9600万円だったのに対し、条例が制定された09年度はおよそ1億7000万円に増額。（奈良県）

—などのメリットが見られます。（日経がんナビより）



岩手ホスピスの会では12月1・15・21日の三日間、盛岡市近郊の商業施設内で買い物客の方々に、「県のがん条例に患者と家族の声が反映されるよう、がん対策推進条例素案についてあなたの意見を県に提出しましょう」と呼びかけました。一人でも多くの方に条例内容についての意見を述べてもらいたいと願い取り組みました。

なぜならがんは今や誰にとっても他人事ではなく、一人ひとりが主体的にかかわって行かねばならないことだと思うからです。足をとめた方々は患者・家族などそれぞれの立場からがん条例に望むものを考え、アンケートに書き込んでいました。

*私たち岩手ホスピスの会は、岩手の緩和ケア医療の促進の詳細な条文化を求め、県議会に要望しました。

- ①緩和ケア医療の推進のため、がん診療連携拠点病院等とそれ以外の医療機関との間の連携協力体制の強化に関する支援
- ②緩和ケアに関する専門的知識及び技能を有する医療・福祉従事者の育成および確保並びに当該医療従事者に対する研修の機会の確保に関する支援
- ③地域別の均衡に配慮した緩和ケアに係る病床の確保に関する支援
- ④在宅での緩和ケア医療の推進に関する支援
- ⑤緩和ケア医療の正しい理解と啓もうの促進に関する支援・・・etc

岩手県内各ホスピス現況(2013年12月現在)

(岩手ホスピスの会調べ 詳細は各病院に直接お問合せ下さい)

| | 孝仁病院 緩和ケア病棟 | 盛岡赤十字病院 緩和ケア病棟 |
|------------------|--|---|
| 住所 | 盛岡市中太田泉田 28 | 盛岡市三本柳 6 地割 1 番地 1 |
| 電話 | 019-656-2888 医療福祉相談室 | 019-637-3111 (代表) 緩和ケア相談室 内線 338 川村・阿部 |
| 病床数 | 10 床 | 22 床 (全室個室) |
| ベッド | 無料個室 8 床 有料個室 2 床 | 有料 10 室 無料 12 室 |
| ベッド料 | 1 日 3150 円 | 1 日 5250 円・10500 円 |
| 看護師数 | 15 名 | 18 名 |
| ホスピス医 | 臼木豊、米山幸宏 | 旭博史、畠山元 |
| 入院審査を受けるには | 医療福祉相談室にご相談ください。 月～土曜 8:30～17:15 (担当 湊) | 緩和ケア外来を受診 |
| 審査日 | 随時 | 随時 |
| ホスピス入院平均待機者人数 | 院内 2～3 名 院外 0 名 | 0 人 |
| ホスピス入院平均待機期間 | 約 1～2 週間 (時期により変動あり) 重症者優先 | 外来受診後、長くて 1 週間 |
| 利用者内訳 | 盛岡市周辺がほとんど (8 割以上) | 盛岡市周辺の方がほとんど |
| 緩和ケア外来 | 臼木豊・米山幸宏 月～水・金・土 8:30～17:15 木曜日 8:30～12:30 | 診察日：毎週月・水、要予約 担当医：旭博史 |
| ホスピスボランティアの人数と活動 | 登録者 24 名 実働 7～8 名 ホスピスボランティア募集中 019-656-2888 4 階病棟藤原まで 都合のよい時間でよいのでぜひ! | 病院ボランティア登録者 17 名。うち 10 名がホスピスで活動中。 病院ボランティア募集中 |
| 遺族会の名称と連絡先 | 名称：ひだまりの会 年 1 回開催 院外の方も参加可能 連絡先：湊、藤原 | 設置検討中 |

| | | | |
|------------------|--|---|--|
| | 岩手県立磐井病院緩和ケア病棟 | 岩手県立中部病院緩和ケア病棟 | 美山病院緩和ケア病棟 |
| 住所 | 一関市狐禅寺字大平17番地 | 北上市村崎野17地割10番地 | 奥州市水沢区羽田町字水無沢495-2 |
| 電話 | 0191-23-3452 | 0197-71-1511 | 0197-24-2141 |
| 病床数 | 24床（個室20 2床室2） | 24床 個室18 2床室3 | 20床（全室個室） |
| ベッド | 無料ベッド17床 有料7床 | 有料個室10床、無料室14床 | 20床 |
| ベッド料 | 1日3050～6200円 | 1日3150～12810円 | 無料 |
| 看護師数 | 18名 | 17名+補助2名 | 17名+ケースワーカー1名+看護補助者6名 |
| ホスピス医 | 平野拓司先生 | 関根義人先生、星野彰先生、平賀一陽先生 | 菊池俊弘先生 及川司先生 |
| 入院審査を受けるには | 緩和ケア支援センターにお問い合わせ下さい 0191-23-3452 | TEL:0197-71-1511（入院相談他）が ん相談支援室 相談時間：平日 午前9時から午後4時まで | 入院相談（担当：ケースワーカー） 後面談 入退院検討会（医師、薬剤師、栄養士、看護師、理学療法士で構成） |
| 審査日 | 随時 | 随時（入院依頼があったその日に即日対応） | 随時 その後ベッドが空くまで待機 |
| ホスピス入院平均待機者人数 | なし | 3～4名 | 2名 |
| ホスピス入院平均待機期間 | なし | 待機期間は同院一般病棟や近隣の病院、連携のとれている訪問診療で対応 | 1週間～2週間 |
| 利用者内訳 | 一関周辺や宮城県北の方がほとんど | 花巻北上周辺の方が8割以上。その他は水沢、盛岡南部等 | 奥州市周辺の方がほとんど |
| 緩和ケア外来 | 担当：平野拓司先生 診察日：月～金曜日 要予約 | 診察日：毎週月・金のAM 担当医：星野彰先生 要予約 | 診察日：火・木・土 菊池俊弘先生 |
| ホスピスボランティアの人数と活動 | ボランティアコーディネーター2名、ボランティア5名 活動：ティータイム、季節の行事 | H23年6月～ボランティア活動開始 40名登録 定期的に研修を行っている | 現在登録者20名で活動中。ホスピスボランティアを募集中 |
| 遺族会の名称と連絡先 | なし | 偲ぶ会 緩和ケア病棟（TEL：0197-71-1511）当院緩和ケア病棟でお亡くなりになった方のご遺族の方のみ これまでに3回開催 | しちせき 七夕の会 緩和ケア病棟（TEL：0197-24-2141）当院緩和ケア病棟でお亡くなりになった方のご遺族の方のみ これまでに2回開催 |
| 入院料 | | | 一般病棟と同じ |



メッセージ(2013年10月～12月)

当会のタオル帽子を受け取った全国の皆さんから当会に寄せられたメッセージの一部をご紹介します。2008年6月からスタートしたタオル帽子発送はこれまで 個に上っています。帽子を作るボランティアの皆さんに深く感謝申し上げます。

*今年の7月に乳がんが見つかり9月に手術をし、10月から抗がん剤治療をしています。先週から脱毛が始まり、今はほとんど髪の毛がありません。夫と息子は私の姿を見るのがつらいらしく、私は絶対見せてはいけないと、いただいたタオル帽子をいつもかぶらせていただいています。本当にありがとうございます。頭を隠すことと私の心がいやされています。それは皆さんの温かい心が伝わり、一人でがんと闘っているんじゃないと思えるからです。(京都大学医学部附属病院)

*私(71歳)町の検診でがんが見つかり、ただただびっくりです。毎年受けていますが自分ががんになるなんて思ってもいないしショック。不安、夜も眠れず・・・悔やんでもだめですよね。病院で検査・検査と続き、手術となり抗がん剤を二回やりました。やっぱり脱毛がやってきました。やさしい主人とやさしい息子、家族が心配してくれます。孫たちも「ばばいよいよカツラだね・・・」なんておしゃべりしてくれますよ。病院で皆さま(盛岡)の製作なされた帽子を見せていただき飛びつきましたよ。とても上手でかわいくてありがとうございます。私もしっかり治療します。(群馬県伊勢崎市)

*このたびは帽子と型紙を送っていただきありがとうございます。とても丁寧に作られた帽子にボランティアの方のやさしさを感じました。家族に病気の者がいると本当に切ないものです。ただおろおろするばかりで何もできずにいましたが、私にもできそうな帽子でしたので頑張ってみようと思います。(北海道岩見沢市)

*このたびは素敵な帽子をありがとうございます。抗がん剤治療で髪の毛が抜けてから、毎日悲しくて恥ずかしくて、つらい日々でした。病院で看護師さんからタオル帽子を教えてください、一ついただくことができました。地肌にやさしいし、かぶった時に何とも言えない安心感がありました。たくさんの帽子を買って試しましたが、タオル帽子が一番使いやすく、愛用しています。思えば病気になってからは自分のことで精いっぱいな日々でした。でも、治療を続けながら少しでも私にできること、役に立てることを探してみます。(茨城県)

フェイスタオルご寄付のお願い

皆様にお問い合わせ申し上げます。ボランティアさんがタオル帽子を作るためのフェイスタオルが不足しております。できましたらご寄付のご協力をお願いいたします。なお、恐縮ですが患者さんのためにできるだけカラフルな柄物でお願いいたします。送付先:020-0883 岩手県盛岡市志家町13-31 岩手ホスピスの会宛



地域に広がる緩和ケア 3～

「通院中から緩和ケア」～緩和ケア外来と医療相談室のご紹介～

岩手県立中部病院 緩和ケア科 星野 彰

がんを患ったかたにお話を伺うと、身体だけでなく気持ちもつらいし、生活をしていくうえで色々な問題が一気にやってきて大変だったという話をよく聞きます。そんなときにお役にたてるように、緩和ケア外来と医療相談室は入院中だけでなく外来通院中のかたの相談も受け付けています。

特に化学療法を受けていると、身体のはらさはもちろんのこと、治療はいつまで続くのか、治療費はかかるし生活はどうなっていくのだろう、と様々な悩みをかかえることとなります。その



ようなかたからのリクエストがあれば、私たちは緩和ケア外来や相談室で、もしくは化学療法室のベッドサイドに出向いて、痛み止めの調整をしたり、介護用ベッドの手配やお金の相談などの様々な生活の支援をさせていただきます。

例えば痛みのあるかたの場合、痛みを我慢していると身体がどんどん弱ってしまいます。痛み止めとして使われる医療用麻薬は化学療法に悪い影響を与えることはありませんし、中毒になることもありません。痛み

みがつらいときには、主治医の先生に痛みがあることを伝えて痛み止めを処方してもらってください。それでも痛みがとれなければ緩和ケア外来に紹介してもらおうのも一つの方法です。

生活については、皆さんの地域にも介護用ベッドを安く借りられたり、訪問看護師さんや診療所の先生が家まで来てくれるといった生活を支援する仕組みが必ずあります。医療相談室はそのような情報の提供や手続きのお手伝いも行っています。

緩和ケアは、がん治療が終わってから始まるものではありません。私たちが目指しているのは、「がんになったら緩和ケア、治療中でも緩和ケア、いつでもどこでも緩和ケア」です。

皆さんも困ったときには、通院している病院の医療相談室に相談してみてください。きっと力になってくれるはずですよ。



岩手県立中部病院:岩手県北上市村崎野 17 地割 10 番地 電話: 0191-71-1511

県南 3 市町の子供たちの健康調査実施を求める要望書への回答

9月3日岩手県庁で、「岩手県南3市町（一関市、奥州市、平泉町）の子供たちの健康調査実施を求める要望書」を提出して来ましたが、このほど県から要望書への回答文書が送付されてきました。予想していた通り、

1. 尿検査は継続に向けて準備中
2. 甲状腺検査は国や福島県の結果を見守り、必要に応じて対応

という回答でした。これを受け、甲状腺検査実施に向けた県議会請願について検討中です。

全国では少しずつ動きが出てきています。希望を捨てず、子どもたちを守るため頑張りたいと思います。

日光市、年明けに子どもの甲状腺検査 2013年9月18日 下野新聞

http://www.47news.jp/localnews/tochigi/2013/09/post_20130918064901.html

東日本大震災：福島第1原発事故 つくばで甲状腺検査 常総生協など、支援基金で開始 /茨城 2013年10月13日 毎日新聞

<http://mainichi.jp/area/ibaraki/news/20131013ddl08040097000c.html>

原発事故子ども被災地支援法についての嘆願書提出

10月12日盛岡市で開催された高橋比奈子衆議院議員さんのミニ集会に参加して、「原発事故子ども・被災者支援法基本方針案の抜本の見直しを求める嘆願書」を手渡してまいりました。

閣議決定されようとしていた（決定されてしまいました!）「原発事故子ども・被災者支援法」基本方針案について、多くの被災者・避難者、全国の自治体が、基本方針案の不公平さに批判の声をあげています。

今国会でこの基本方針の採択を見送り、基本方針案の見直しと公聴会の早期見直しを求めた嘆願書を比奈子さんに手渡しました。



高橋比奈子さんに原発事故子ども被災者支援法について嘆願

また、私たちの住む岩手においては県南三市町（一関市、奥州市、平泉町）が、国の放射能汚染状況重点調査区域となっていることを踏まえ、住民が安心して暮らしていけるよう、子ども・被災者支援法に基づく各種施策は、福島県以外でも国の汚染状況重点調査地域には適用されるものとし、特に汚染状況重点調査地域の子どもおよび妊婦に対して特別に配慮され、費用は全額国が負担していただきたいということもお願いしました。

被災した方たち、今現在避難生活を余儀なくされている方たちの思いを代弁し、嘆願したつもりです。

嘆願の際は、平泉に住んで子供を持つお母さん方や奥州市で子供たちを放射能から守りたいと活動していらっしゃる会の代表の方、盛岡で子供たちの放射能汚染を心配して勉強会を開いているお母さん方などたくさんの方が駆けつけ、それぞれの立場から意見を述べていただきました。

各地で子どもたちの放射線による健康被害を心配する若いお母さんお父さんのまとまった声を聞き、改めてこの問題の深刻さを感じました。ぜひ参加した方々の切実な声を、比奈子さんが国に届けてくださるよう願っております。

年も明け、寒さが本番になってきますね。今月は体の中からぽかぽかと温まる 1 品を紹介したいと思います。茶碗蒸しにうどんを入れた「小田巻き蒸し」です。東北では馴染みが少ないメニューですが、関西では食べられているお料理です。



小田巻き蒸し 1人前 約240kcal

| 材料(2人分) | 分量 |
|------------|-----------------------|
| うどん | 1玉 |
| 卵 | 2個 |
| だし汁 | 300cc |
| みりん | 大さじ1 |
| 薄口醤油 | 大さじ1 |
| 塩(好みで) | 少々 |
| 茶碗蒸しの具は好みで | 鶏肉・えび かまぼこ 椎茸など |

作り方

- ① うどんは袋の上から十字に切れ目を入れ水ですすいで器に入れる。
 - ② A を合わせておく。
 - ③ 卵を溶いたものを A と合わせこして器に注ぐ。
 - ④ ③に具を入れる。器にラップをする。
 - ⑤ 鍋に水を入れ強火で沸騰させ用意し、④を蒸し器に入れ 15~20 分程度蒸す。
 - ⑥ フォークを刺し、汁が出てこなければ完成。
- ※ 鍋で蒸すのが大変な時は電子レンジ 500W3 分でもできます。
電子レンジの場合、卵のすが入りやすくなりますが手軽ですので、お試しください。

胆沢病院 栄養サポートチーム栄養士 活動日誌③

《「俺は化身だ、だから死なないと思う」、思いを支えることの難しさ》

ある男性のがん患者さんのお話をしたいと思います。

彼は自宅療養をし、体調が悪い時だけ入院をしていた。入院直後は食欲がないことが多く、栄養士の私も関わらせてもらった。誰しもそうだと思うが、彼も体調が悪い時は機嫌が良くなかった。病院スタッフに怒ることもしばしば。私も、もれずに「ちゃんと味見したのか〜」と怒られた。近づきにくいところもあったが、「すいとんを食べたい」と食事のリクエストもあり、対応もしていた。ある日、「今日の機嫌はどうかなあ…」と内心びくびくしながら訪問すると、彼はベッドから起き、窓の外を見ていた。そして、訪問した私に椅子を勧め、「食事を即対応してくれてありがとう。でも、俺がケンシだからってそんなに気を遣わなくていいよ」と笑っていた。「ケンシ＝化身」と私の頭の中で変換するのに数秒かかり、私が「化身？」と言うと、「そう、先生から言われた予後を過ぎても俺は生きている。俺は化身だ、だから死なないと思う」と教えてくれた。

その後、体調が悪い日が多くなった。訪問すると、「覚悟は当に出来ている」と不機嫌そうに話していた。しかし、家族や病院スタッフにも怒ることが増えていった。「もういいよ」という彼の言葉で私も訪問回数が減っていった。彼は、化身とでも思わない限り、命が終わることが怖かったのかもしれない。振り返り考えると、彼の本当の苦しさに寄り添えていなかったと思う。思いがあるからといい患者さんは全てを語るかと言えばそうではない。思いを内に秘めることもある。病気の進行する中でその人らしさを大切にしながら体・気持ちの両面を支えることの難しさを感じた患者さんとの関わりでした。

ピアノコンサート in 陸前高田・被災地支援

11月10日、震災から2年8ヶ月を迎える前日、陸前高田を訪問しました。今回のピアノコンサートは、以前、横浜FMでお世話になった、ピアニストの樋口あゆ子さんからの依頼が事の始まりでした。

「被災地でピアノを弾かせていただける所はありませんか？」との問いに、正直あるわけがないと思いました。なにもかも流されさら地の沿岸地域が目につかびました。いつもお世話



になっている陸前高田にとりあえず連絡をとってみると、ひとつ返事で「グランドピアノあるよ！」

被災地支援でNPOが運営している「朝日のあたる家」。当日は、ピアニストの樋口あゆ子さんを始め、東京音大の女子学生、ベトナムから来日中の高校生の3名が、来場者をつつむ暖かな音色でピアノコンサートが開催されました。

ホスピス

の会では、コーヒーサービススタッフとしてお手伝い。時間の合間に、仮設を訪問し患者さんやご家族の傾聴にも取り組みました。



書籍紹介

がん患者力

「NHK がんプロジェクト」取材班

出版社 主婦と生活社 発売日 2013年12月13日

単行本 238ページ

NHKの記者・ディレクターが全国取材と患者・家族へ行ったアンケート2500名からの解答をもとに日本のがん医療の問題や後悔しないために身につけておくべき知識や知恵を紹介した一冊。ドキュメンタリーの手法を借りた医学実用書です。



タオル帽子を作りたい方へ



- ※ タオル帽子を作りたい方へ型紙をお譲りしています。
- ※ 型紙・見本の帽子1個（送料込み1000円）
- ※ 申し込み方法：はがきかメールでお願いします。メールアドレス：hospice@eins.rnac.ne.jp
はがき：031-0823 青森県八戸市湊高台6-4-22吉島方「岩手ホスピスの会」

これからのタオル帽子講習会日程

- 1月11日：タオル帽子講習会・倶楽部 2月8日：タオル帽子講習会・倶楽部
- 3月8日：タオル帽子講習会・倶楽部 場所：盛岡市総合福祉センター
- 開催時間：午後1時30分から 問い合わせ先：080-1658-1762
- ※ 型紙のコピーはご遠慮願います。型紙の必要な方は当会へお問い合わせください。

岩手ホスピスの会活動日誌

2013年 10月～12月

- 10月6日 通信発送作業～第5回役員会（盛岡市総合福祉センター、8名）
- 10月12日 タオル帽子倶楽部・講習会（総合福祉センター、名）、子供被災地支援法についての嘆願書提出（衆議院議員高橋比奈子さんミニ集会、1名）
- 10月20日 被災地支援バザー（盛岡市奥州街道アンティーク市、6名）
- 10月26日 笑いの講座「歴史の忘れもの」開催（盛岡市勤労福祉会館、32名）岩手医大がん患者家族サロンボランティアスキルアップセミナー（盛岡市エスポワールいわて、4名）
- 11月9日 タオル帽子倶楽部・講習会（総合福祉センター、21名）
- 11月10日 被災地支援・日本ベトナム外交樹立40周年記念ピアノコンサートに応援参加（陸前高田市米崎町「朝日のあたる家」、6名）
- 11月22日 タオル帽子ボランティア（岩手医大患者家族サロン、3名）
- 11月24日 倉庫作業（盛岡市タオル帽子倉庫、6名）
- 11月30日 あんしん生命タオル帽子寄贈式・クリスマスタオル帽子発送作業（総合福祉センター、30名）
- 12月1日 岩手県がん条例パブリックコメントについての啓発活動（滝沢村土日ジャンボ市、9名）
- 12月7日 タオル帽子倶楽部年末交流会（盛岡市内、20名）
- 12月14日 タオル帽子倶楽部・講習会～第6回役員会（総合福祉センター、25名）
- 12月15日 岩手県がん条例パブリックコメントについての啓発活動（滝沢村土日ジャンボ市、8名）
- 12月20日 「(仮称)岩手県がん対策推進条例」素案に係る意見交換会に参加（岩手県議会、2名）
- 12月21日 岩手県がん条例についての啓発活動（滝沢村土日ジャンボ市、8名）



笑いの講座「歴史の忘れもの」開催



10月26日、盛岡市勤労福祉会館において、当会主催・笑いの講座「歴史の忘れもの」が開催され、約30人の聴衆が参加しました。講師の山田公一さんは「市民の歴史探究館」代表で、同探究館は資料館として一般解放されており、盛岡の歴史を多くの市民に伝える役割を担っています。山田さん自身も実に多くの人脈と膨大な資料を有し、郷土の発展のために歴史の探究を続けておられます。講座では、年々盛岡でも顕著になっている異常気象について触れ、特に今年8月9日に秋田から盛岡を襲った集中豪雨



について、1801年に起こった通称「盛岡水」と呼ばれる水害に酷似しており、この水害については人々の避難の様子など多くの記録が残されており現代に学ぶべきことは多い、南部藩や昭和後期の諸官庁が残してきた、盛岡に関する災害を始め様々な記録を調べ総合的に比較検討することで未来の盛岡を守ってゆくべき時代であると思います、と述べられました。受講した方たちは、山田さんが次々に語る、知らなかった盛岡の意外な歴史に驚き感心しながら聞き入っていました。

がん患者家族サロンボランティアスキルアップセミナー参加報告

2013年度、岩手医科大学附属病院「がん患者家族サロン」が主催するボランティア研修会が6月22日、10月26日の2回にわたって行われ、同サロンで活動しているボランティアの方々のべ60名が受講しました。当会からも4名が参加しました。ボランティアとは何か、ボランティアを学ぶロールプレイ、守秘義務・倫理などボランティアの心得・・・etcを学び、同サロンの役割は、医療者と違う目線で患者さんやご家族の精神面をサポートすることであり、チーム医療の中においてもサロンの役割は大きく、同サロンでは今後もよりよいサロンの充実を目指して研修会を継続して行きたいということでした。

「岩手ホスピスの会」がん相談ホットライン

| | |
|-----|---|
| 開設日 | 毎月第2土曜日 午後1時30分～4時（月により変更あり） 相談無料 |
| 場 所 | 盛岡市若園町総合福祉センター内 タオル帽子倶楽部会場（月により変更あり） |
| 内 容 | 電話相談：がん全般についての相談に対応致します。 直接面談：上記会場に来院して頂き対応※事前にお電話いただければ、相談内容に合ったスタッフが対応致します。 |
| 問合せ | 岩手ホスピスの会 090-2604-7918 |

岩手ホスピスの会総会記念講演会

2014年2月15日(土) 14:00~15:00

医療用麻薬の誤解を解き早期からの緩和ケアを実現するために

岩手医科大学付属病院がん専門薬剤師 佐藤淳也先生

岩手県はどれだけペインコントロールに医療用麻薬(モルヒネ)を使っているのでしょうか？

(1) 各都道府県の比較 (2) 県内市町村の比較 (3) 日本・県内の使用量の過去の変遷
(4) 岩手県でのペインコントロールの現状—二三段階の麻薬を中心としたペインコントロール薬の種類。(5) 早期から緩和ケアの利用になっているか？ (6) 緩和医療・緩和ケアとは？について

—最新の医療用麻薬情報を中心に、緩和医療・緩和ケアについてお話していただきます。

講師略歴 佐藤 淳也 (さとう
じゅんや)

所属；岩手医科大学付属病院
薬剤部 出身；東京都

場所：盛岡市若園町

盛岡市総合福祉センター

—4F講堂

入場無料 問合せ：岩



手ホスピスの会 (TEL:090-2604-7918)